

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2020
10
vol.274



Carya・パチッコリン(フジナツ健)・
MANAMI・らっくーでオープニング



Carya
スタジオ生歌



「ラジオdeつながる酪王まつり」開催!

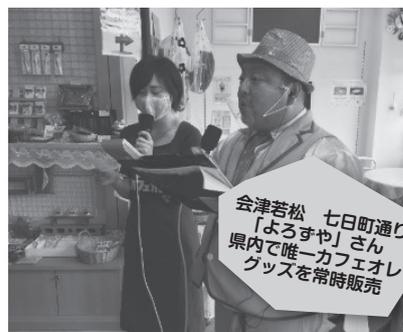
今年の酪王まつりは、コロナの影響で工場開催は中止とし、代替イベントでラジオ福島の毎週日曜のワイド番組「SUNKIN」とコラボし「ラジオdeつながる酪王まつり」を、九月二十七日に開催しました。県内スーパー各店では酪王製品の感謝セールを実施しつつ、ラジオでリスナー参加型イベントとなりました。番組は手塚伸一アナとシンガーソングライターでアシスタントのCarya(カーヤ)そして、例年まつりMCをつとめるパチッコリンの二人、東京からリモート参加でカフェオレソング・らっくーのうたでおなじみのMANAMIをゲストに酪王関係者のインタビューを含め、笑いありクイズあり酪王あるあるでにぎやかに四時間生放送を行いました。



酪王・南條部長も加わり酪王あるある。



いってみっカーは会津鶴ヶ城へ「鶴ヶ城喫茶」さん
カフェオレ銀シャチ焼きを取材中継



いってみっカーはパチッコリン(ムッシュ・サイトー)
が県内各地から生放送



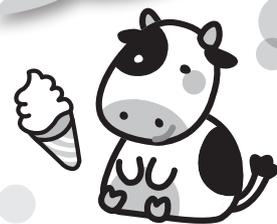
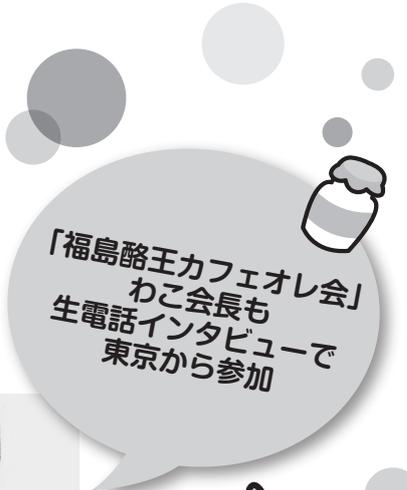
工場取材中の手塚アナと Carya



安達道の駅(上り)では
期間限定バナナソフトを取材



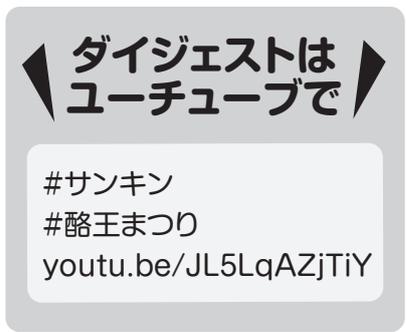
開発担当 小野崎主任からは
次の新商品の話も!



スタジオでは、まつり恒例
"早飲み大会"⇒誰が早いかわイズ



終了は、鈴木専務も4時間生番組を
ふり返って

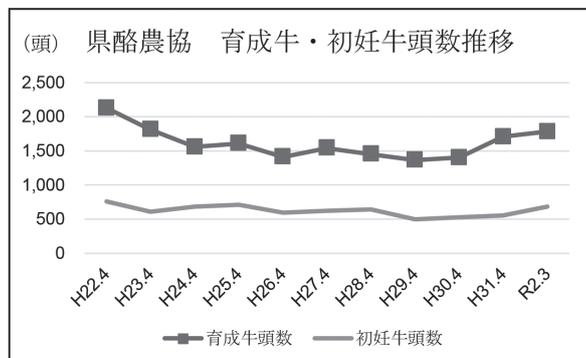


◎来年は、コロナをやっつけ「お客様とつながる酪王まつり」をご期待ください。

あなたの育成牛の発育、大丈夫ですか？

皆さん、ホルスタイン種雌牛の標準発育値が、推奨発育値に見直されたことをご存じですか？

今年3月に一般社団法人日本ホルスタイン登録協会によって発表され、1995年（平成7年）以来、実に25年ぶりとなる見直しとなりました。福島県では性別別精液の利用、後継牛確保への意識の高まりにより、ここ数年で育成牛頭数・初妊牛頭数は増加傾向となっています。



今回、推奨発育値が見直されましたので、今まで後継牛作りをしてきた方はもちろん、後継牛作りに今後取り組みたいと思っている方も発育値について知って頂き、後継牛作りに役立てて頂きたいと思います。

それでは、見直された経緯や変更された点をご紹介します。

<推奨発育値の歴史>

- 1959年（昭和34年） 農林水産省、農業技術研究所、日本ホルスタイン登録協会の共同研究により、日本で初めて「正常発育値」が発表される。
農林水産省の種畜牧場で飼養されているホルスタイン種雌牛生時から36月齢までの牛体13部位の測定データ88例より算出。
- 1983年（昭和58年） 「正常発育値」の見直し
日本の酪農近代化に適したホルスタイン種標準体型設定の為の基礎調査事業」の中で正常発育曲線の推定に取り組み、農林水産省の種畜牧場及び都道府県の畜産試験場からのデータを使用し、生時から60月齢までのホルスタイン種雌牛7,034頭のデータを使用して、正常発育値が見直しされる。
- 1995年（平成7年） 「標準発育値」の発表
家畜改良事業団が実施した「総合的遺伝能力評価のための基礎情報整備事業」において全国の農家で3,245頭の経産牛データを測定した他、家畜改良センター各牧場及び都道府県の畜産試験場からのデータを使用し、ホルスタイン種雌牛の体格の現状把握及び飼養管理上の客観的指標となる「標準発育値」を発表。
- 2020年（令和2年） 「推奨発育値」の発表
近年のゲノミック選抜の実用化により、泌乳能力の改良速度が上昇している一方で、体のサイズ大型化が顕著に進んでいます。今回、3年間に及ぶゲノミック評価調査や6道県14戸の酪農家で飼養されているホルスタイン種898頭の生時から初産分娩後の早い時期まで最低2回以上測尺、また国・都道府県の19畜産試験研究機関のデータを利用し、体のサイズが大型化することで生産寿命の短縮を招くことが明らかになりました。生乳生産量の回復の為、長命連産性や生涯乳量の向上が急務であることから、現状よりも体サイズは小さいが生産寿命の延長が期待できる「推奨発育値」を発表。

長い歴史の中で、その時代に合った牛群改良を進める為、様々な試験やデータ解析が行われてきました。現在まで日本の風土にあったホルスタイン種雌牛の改良を行ってきましたが、種雄牛の改良が急激に進んだことにより、雌牛の体格がより大きく改良されてきました。しかし今、その改良が見直されています。一定以上の大型化は、生産寿命の短縮を招くことがわかってきたのです。そこで日本の生乳生産量の維持・回復の為、長命連産と生涯乳量の向上への取り組みが始まりました。

今回の発表された「推奨発育値」は、まず体型審査の線形式形質を使用し、体のサイズと生産寿命の関係を生存時間解析で調査しています。その結果、初産における高さ、胸の幅、体の深さ及び座骨幅はある値を超えると淘汰の危険度

が上昇し、一定以上の大型化は生産寿命の短縮を招くことが明らかになりました。（高さの値としては、142cm～145cm。）

一方で、測尺データを誕生年で集計したところ、2000年から2015年まで体重、体高、尻長及び胸囲が大型化する有意な傾向が認められ、一般酪農家が現在飼養している雌牛は初産乳期中の体高が平均で148cmを超えていることも明らかになっています。

今回、現状の体サイズに合わせた標準的な発育値でなく、現状よりも体サイズは小さいが生産寿命の延長が期待できる「推奨発育値」が開発されたのです。

推奨発育値の使い方について、興味がある方はぜひ生産指導課までご連絡ください。

今月号では、推奨発育値についてご紹介しましたが、来月号より育成牛の飼養管理について連載していく予定です。皆さんの大切な後継牛（資産）を管理していく為に必要なポイントなどを紹介していきたいと思っておりますので、お楽しみにっ！

ホルスタイン種雌牛の月齢別推奨発育値

（令和2年3月作成：範囲は平均±標準偏差）

月齢	区分	体重(kg)	体高(cm)	尻長(cm)	腰角幅(cm)	胸囲(cm)
生時	平均値	41.9	77.0	22.9	16.9	81.4
	範囲	26.0～57.9	73.9～80.1	21.3～24.5	15.4～18.4	75.8～86.9
1月	平均値	61.8	83.3	25.6	19.5	91.3
	範囲	44.9～78.7	80.3～86.3	24.1～27.0	18.1～20.9	86.5～96.2
2月	平均値	85.1	89.2	28.1	22.0	100.9
	範囲	68.0～102.3	86.1～92.3	26.7～29.5	20.6～23.4	96.5～105.2
3月	平均値	111.1	94.7	30.6	24.4	110.0
	範囲	94.0～128.2	91.6～97.9	29.2～32.0	23.0～25.8	105.8～114.1
4月	平均値	139.0	99.8	32.9	26.8	118.6
	範囲	122.0～156.1	96.6～103.1	31.5～34.3	25.4～28.3	114.5～122.8
5月	平均値	168.2	104.6	35.1	29.1	126.8
	範囲	150.9～185.6	101.3～107.8	33.6～36.5	27.6～30.6	122.5～131.0
6月	平均値	198.5	108.9	37.1	31.3	134.4
	範囲	180.4～216.7	105.7～112.2	35.7～38.6	29.7～32.9	129.9～138.8
8月	平均値	258.0	116.6	40.8	35.4	148.0
	範囲	237.4～278.7	113.3～120.0	39.3～42.4	33.7～37.1	143.2～152.8
10月	平均値	315.7	123.1	44.0	39.0	159.7
	範囲	292.1～339.4	119.7～126.4	42.4～45.6	37.2～40.7	154.6～164.7
12月	平均値	369.4	128.4	46.7	42.1	169.5
	範囲	343.2～395.6	125.1～131.7	45.1～48.4	40.3～44.0	164.3～174.6
14月	平均値	418.2	132.6	49.0	44.9	177.7
	範囲	389.8～446.5	129.2～135.9	47.3～50.6	43.0～46.7	172.5～182.9
16月	平均値	461.6	136.1	50.9	47.2	184.5
	範囲	431.5～491.7	132.7～139.4	49.2～52.6	45.3～49.1	179.4～189.7
18月	平均値	499.8	139.0	52.5	49.2	190.2
	範囲	467.9～531.6	135.6～142.3	50.8～54.2	47.3～51.1	185.0～195.4
24月	平均値	586.5	145.1	55.8	53.4	201.9
	範囲	547.8～625.2	141.5～148.6	54.0～57.6	51.3～55.4	196.3～207.4
30月	平均値	641.0	148.5	57.6	56.0	208.1
	範囲	593.2～688.8	144.8～152.3	55.6～59.5	53.8～58.2	202.0～214.3
36月	平均値	674.5	150.5	58.8	57.9	212.4
	範囲	617.6～731.3	146.5～154.5	56.7～61.0	55.5～60.3	205.5～219.3
48月	平均値	729.0	152.3	60.1	59.9	216.6
	範囲	657.8～800.1	148.0～156.6	57.7～62.5	57.1～62.8	208.6～224.7
60月	平均値	760.1	152.9	60.6	60.9	218.2
	範囲	674.4～845.8	148.5～157.4	58.0～63.2	57.6～64.1	209.5～227.0

令和2年10～12月の牛用飼料価格について

令和2年度第3四半期（令和2年10月～12月）の牛用飼料（配合・哺育）につきまして、下記のとおり価格改定を致しますのでご案内申し上げます。

記

改定額（令和2年4～6月期対比）

- (1) 牛用配合飼料 トン当たり 1,800円値上げ
- (2) 牛用哺育飼料 トン当たり 49,000円値下げ

原料情勢等につきましては、以下のとおりです。

主原料である米国産とうもろこしは、9月11日米国農務省の需給予想において2020年産の生産量3億7,848万トン・前年比109.4%、単収は178.5ブッシェル/エーカー、総需要量3億7,276万トン、期末在庫6,358万トン、在庫率17.1%と発表されました。

米国産とうもろこしについては、20/21年産トウモロコシ生産量が豊作と予想され軟調に推移していましたが、米国主要生産地での強風被害による生産量減少懸念や中国の米国産トウモロコシの大量買付けが続いているため、相場は堅調に推移しています。

大豆粕については、国産は食用油の外出需要減退により発生量が低調で、輸入は中国内の飼料需要増加により価格競争力が低下しているため、相場は高値で推移しています。

槽糠類については、グルテンフィードは依然としてスターチメーカーの稼働が低調なため、需給が非常に逼迫し相場が高騰しています。ふすまも小麦粉挽砕量が引続き減少しているため、需給が逼迫し相場は強含みで推移しています。

脱脂粉乳については、各国において外出需要が回復傾向にあるものの、オセアニア産の生産が増加していく時期に入ることから相場は弱含みで推移しています。

海上運賃は、世界的な経済活動再開への期待感を材料に、中国向け鉄鉱石の荷動きがブラジル、豪州出しを中心に一気に増加しているため堅調に推移しています。

為替相場は、米金利低下を背景に円高基調で推移していますが、新型コロナ、米中関係、米大統領選挙を見据え、先行き方向感の定まらない展開が予想されます。

生産基盤推進室コラム

10月

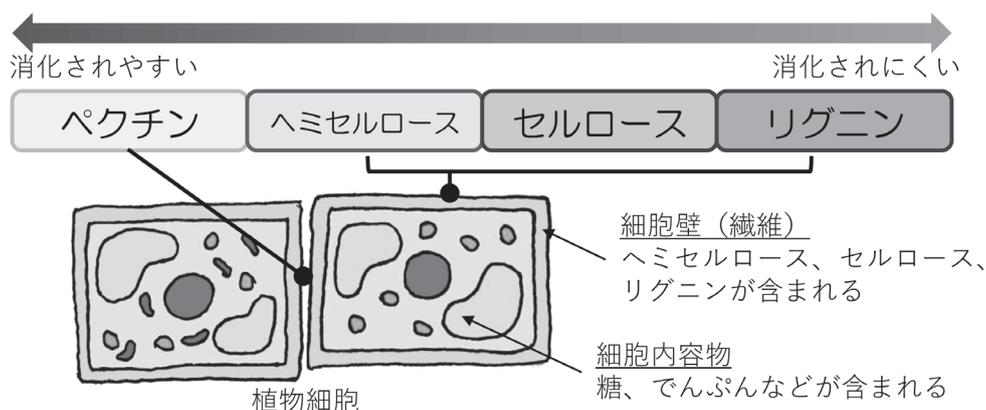
乳牛の主食～繊維～

牛にとって最も大切な飼料とはなんでしょうか？ 必ずこれと決めることは難しいですが、粗飼料と答える方が多いのではないのでしょうか。今月号からは切っても切り離せない牛と繊維の関係について、2回に渡ってお送りしたいと思います。

繊維の種類

粗飼料に多く含まれている栄養素と言えば繊維が挙げられます。繊維とは様々な分画が存在し、牛の生命活動に欠かせないエネルギー源としての側面を持っており、またルーメンの健康を支える役割も担っております。下の図1をもとに一つずつ繊維の種類と役割を確認していきましょう。

図1. 繊維の種類



リグニン

リグニンとは繊維の中で最も固い繊維です。木質素とも呼ばれ、名の通り木に多く含まれる繊維です。牛が食べる餌の中でリグニンを多く含んでいるものに、稲わらやルーサンが挙げられます。ルーサンは輸入乾草の中でも葉付きが多く、消化されやすい草ではありますが茎に多くのリグニンを含んでおります。リグニンは牛が分解吸収することがほとんどできない成分ですが、ルーメンの膨満に関わり牛に満腹感を与えることができます。つまり消化されないのならば牛にあげる必要がないというわけではありません。飼料乾物中に3～4%の組み込みが目安とされています。

セルロース・ヘミセルロース

セルロースとヘミセルロースは植物の細胞壁の大部分を占める、植物体にとって大切な構成要素です。もちろん乳牛にとっての重要性も大きく、乳脂肪の原料となる酢酸の大部分は、このセルロースとヘミセルロースから微生物によって生成されます。繊維の特徴としてはセルロースの方がヘミセルロースより固い繊維となっております。セルロースとヘミセルロースはどの植物にも必ず含まれる成分ですが、牛の餌の中ではクレイングラスやチモシーといったイネ科牧草に多く含まれております。この2つの繊維は牛の主食の大部分を占める大切な繊維です。

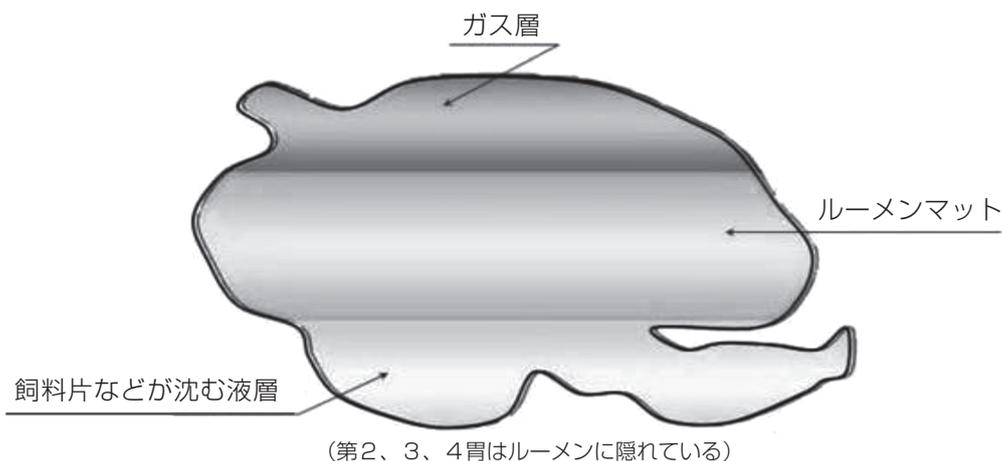
ペクチン

ペクチンは上記の繊維とは異なり、植物の細胞壁同士をつなぐ成分で、とても消化しやすい繊維です。牛の餌の中ではビートパルプやミカン粕に多く含まれております。消化性が高いため、効率よく牛へのエネルギーに変換されます。

粗飼料は牛の主食

牛の食べる飼料は大きく粗飼料と濃厚飼料の二つに大別され、粗飼料を主食、配合飼料をおかずというように位置付ける話を酪農家さんは多く聞かれているだろうと思います。粗飼料が牛にとって必要な理由の一つに、ルーメンという独自の消化器官が大きく関わっています。

図2. 牛体左側より見たルーメン



上の図2はルーメンの中身について表しています。図の通りルーメンの中は上から「ガス層」「ルーメンマット」「液層」の3つに分けられます。繊維はこのうちのルーメンマットの形成を担っております。ルーメンマットとは牛が食べた飼料中の繊維で成り立っており、ルーメン内に入ってきた飼料が液層に落ちる前に1度受け止めるという役割を持っています。ルーメンマットの形成が不十分であると、食べた餌が早急に微生物に分解され、ルーメン内pHが低下しルーメンアシドーシスが発生してしまいます。冒頭でも述べたように、ルーメンマットつまり繊維とはルーメン内の健康を維持するために必要不可欠な栄養素です。したがって給餌の際は、濃厚飼料の前に必ず粗飼料から給餌をしてください。

ルーメンマットを形成することこそが粗飼料にはできて濃厚飼料にはできない、粗飼料が持つ牛の主食としての役割です。

今回は繊維という栄養素が牛にどのように役立っているかを解説いたしました。牛の糞が緩い、食欲不振が続いてる等の症状が牛に見られた場合、ルーメンマットの形成がうまくいかず、ルーメンアシドーシスになっているかもしれません。このような不調が牛に起こっている場合は生産基盤推進室までお問い合わせください。飼料設計等を利用して改善に導きます。来月はルーメンマットの形成に関わる繊維について詳しくお話していきたいと思います。今月もありがとうございました。



全酪連の小窓 10月号 ウシのアシ

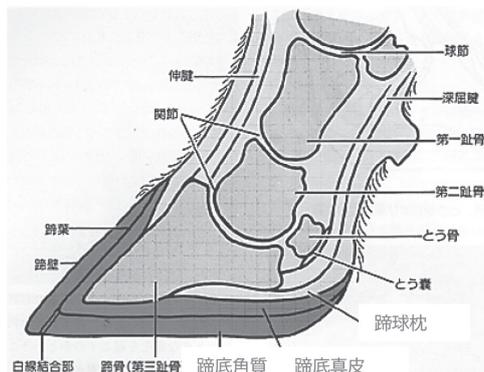


残暑が和らぎ涼しくなってきましたね。私は先日朝方に寒さで目が覚めてしまい思わず毛布を引っ張り出してしまいました。皆様も気温の変化で体調を崩さないよう、お気をつけ下さい。
涼しくなり牛の採食量は上がってきます。気温以外の要因で牛の採食量を下げないように注意したいところです。今回のテーマは蹄の問題です。

◎ 蹄の構造

右図は蹄の断面を簡単に表したものです。簡単に説明すると、蹄骨を覆うように外側から蹄底角質（ていていかくしつ）、蹄底真皮（ていていしんぴ）、そしてクッションの役割を持つ蹄球枕（ていきゅうちん）があります。

通常、蹄の角質部分は1か月に約5mm伸び、自由放牧の牛では蹄の伸びる速さと摩耗する速さがほぼ同じと言われています。しかし繋ぎ飼いや通路にマットを敷いている場合は蹄が伸び易い傾向にあります。

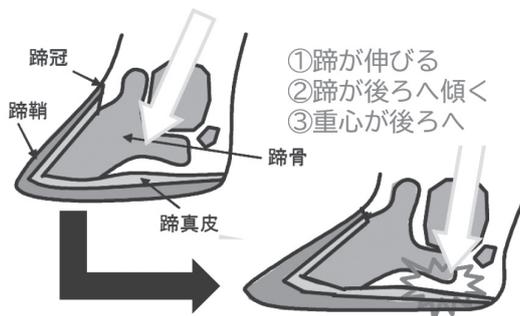


◎ 削蹄の必要性

蹄が伸びてくると蹄尖（つま先）の角度が低くなります。重心が蹄踵にずれ、蹄骨の一部が蹄真皮を圧迫するようになります。

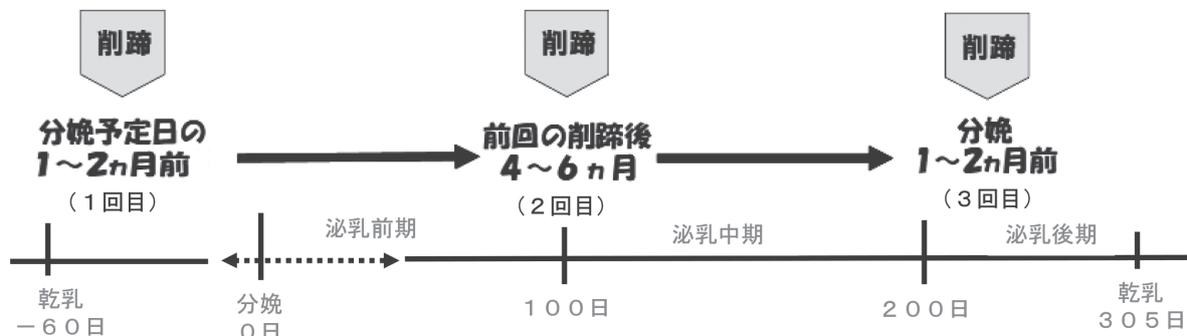
この状態が長引くと、蹄真皮が炎症し、角質の形成が不安定になるため、感染症や蹄底潰瘍の要因になります。

このためには定期的な削蹄の実施（年2～3回）に合わせ、蹄のバランスを整えることが重要です。



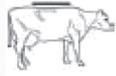
- ①蹄が伸びる
- ②蹄が後ろへ傾く
- ③重心が後ろへ

◎ 理想的な削蹄サイクル



- ・分娩1～2か月前に実施し、その後は蹄の成長に合わせて4～6ヵ月ごとに削蹄するのが理想的です。
- ・分娩前30日から分娩後90日程度（授精時期）まではストレス軽減のため、異常がない限りは削蹄は行わないほうがいいと言われています。

◎ 跛行スコアの確認方法と損失

	背部姿勢	歩行	乾物摂取量	生乳生産	牛群の目標割合
スコア1 	佇立、歩行中もまっすぐ	異常は見られない	影響無し	影響無し	65%
スコア2 	佇立時はまっすぐであるが歩行時には稀に湾曲する	異常は見られない	1%減少	影響無し	10%
スコア3 	佇立、歩行時に明白な湾曲がある	若干の影響が見られ歩幅が短い肢がある	3%減少	5%減少	15%
スコア4 	佇立、歩行時に明白な湾曲がある	明白な影響が見られ振り出しに時間を要する肢がある	7%減少	17%減少	10%
スコア5 	佇立、歩行時に明白な湾曲がある	自発的な歩行がほとんどできない状態	15%減少	36%減少	0

・フリーストールなどは搾乳時の待機場の追い込み時に確認すると効率的です。

追い込み時に通路や牛床からの起立が困難な牛や普段から長時間横臥（寝ている）している牛は跛行牛の可能性あります。確認の際は1人よりも2人の方が正確性が増すため、パーラー退出の際に合わせて観察をお勧め致します。

○ 繋ぎ牛舎での確認方法

- ① 横臥している牛は起立をさせ、少なくとも3分間観察します。
- ② 起立状態を評価し、牛を左右に移動させる。
- ③ 再び起立状態で下記項目をチェックします。
 - ・ 左右に体重を絶えず移動させている
 - ・ 不快感を示す
 - ・ 通常よりも高い位置に肢を上げる
 - ・ 起立または前後に移動するとき、肢に体重をかけるのを拒む
 - ・ 縁石に座りたがったり、糞尿溝に下りたがる

もし、上記2つの問題が見られる場合、その牛は跛行問題を抱えている可能性があります。

牛は肢・蹄が痛むとストレスを感じるようになります。生産性の高い牛ほど良く食べ、良く飲み、よく横になり寝ますが、跛行により、それらの行動に制限が生じると乳量や繁殖成績、最悪の場合は疾病による廃用になるケースもあります。

蹄病の発生には環境や栄養など様々な要因がありますが、一番大事なポイントは早期発見と対策です。また、適切な削蹄は蹄病の予防と早期発見にもなります。

ZENOAQ コーナー Vol.190



駆虫について 考えてみましょう!

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

■駆虫していますか？

牛の生活には様々な虫たちが関わっています。ルーメン内で飼料の消化に関わる有益な虫だけでなく、身体の内外に寄生して食べた栄養を横取りしたり、寄生による痒みがストレスとなり牛の生産性を低下させる虫たちがいます。

■牛に関係する寄生虫とは

牛に関係する寄生虫は外部寄生虫と内部寄生虫の大きく2つに分類されます。

外部寄生虫

体の表面に寄生し、直接目で見て症状や虫の確認を行うこともできます。
牛に痒みや吸血によるストレスを与えて生産性を低下させます。



ノサシバエ



ハジラミ



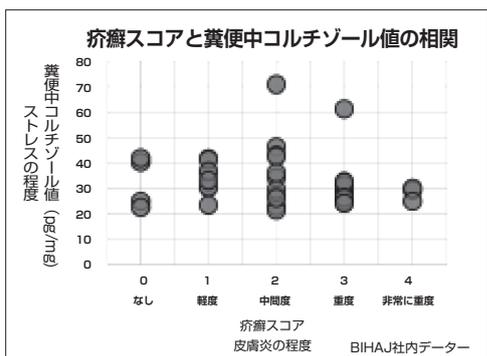
疥癬ダニ

次のような痒がってかわいそうな牛さんはいませんか？

- ◎牛さんが柱や隣の牛さんにゴシゴシ擦り付けているところ見かけませんか？
- ◎牛さんが目いっぱい体を折り曲げて一生懸命舐めるところ見かけませんか？
- ◎牛さんがハエがいないのに尻尾を落ち着きなくブルンブルン振っているところ見かけませんか？

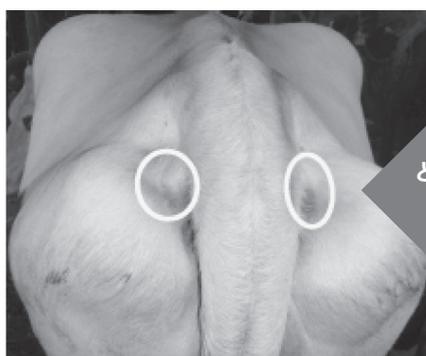
「もしかして疥癬、牛ジラミの
影響かもしれませんよ・・・」

疥癬の病変が軽くても、強いストレスを感じている牛がいます！



疥癬スコアとストレスは比例しないことが確認されています。

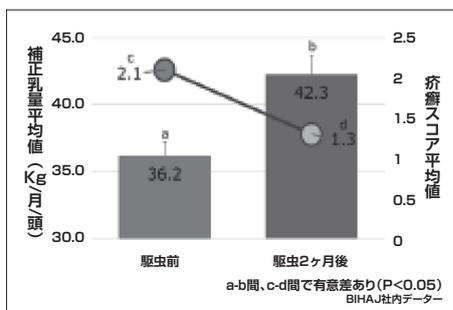
動物がストレスを受けると、副腎からコルチゾールというホルモンが分泌され、血中に放出されます。コルチゾールは、血中から毛・尿・糞など様々なところへ移行します。コルチゾールはストレスホルモンとも呼ばれ、ストレスの指標に活用されています。



どちらもストレスを感じています！



ストレスは牛の生産性を低下させる要因の一つです。疥癬の牛が牛舎にいたら、その全頭の駆虫を実施して牛を痒みのストレスから解放しましょう。



エプリネックス® トピカルの駆虫効果

エプリネックス®トピカルによってショクヒゼンダニを駆除したところ2ヶ月後に乳量増加と疥癬スコアの改善が見られました。



規格
1L, 2.5L, 5L

エプリネックストピカル
牛乳の休薬ゼロ
搾乳牛に使用できます

要注意

肉の休薬は**20日間**です
搾乳牛の肉出荷の予定がある時は
必ず確認してください

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2020年8月31日現在

区 分	酪農家戸数					乳 牛 頭 数							
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北支所	35	37	94.6	529	239	196	473	773	1,442	2,210	2,301	96.0	63.1
県中支所	72	77	93.5	352	153	177	371	790	1,338	1,843	1,906	96.7	25.6
浜支所	7	8	87.5	84	32	30	54	126	210	326	338	96.4	46.6
県南支所	40	42	95.2	655	315	235	608	1,041	1,884	2,854	2,825	101.0	71.4
県酪合計	154	164	93.9	1,620	739	638	1,506	2,730	4,874	7,233	7,370	98.1	47.0

区 分	月別分娩予定頭数							販 売 乳 量				
	2020 9月	2020 10月	2020 11月	2020 12月	2021 1月	2021 2月	2021 3月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
県北支所	129	133	152	106	114	148	126	35	31,917	912	25.6	22.1
県中支所	107	113	87	96	88	77	133	71	28,921	407	24.9	21.6
浜支所	19	15	21	15	18	12	16	7	5,088	727	28.3	24.2
県南支所	137	165	149	152	143	163	249	40	42,604	1,065	25.8	22.6
県酪合計	392	426	409	369	363	400	524	153	108,531	709	25.6	22.3

令和2年度受託乳量の状況

令和2年8月の受託乳量は、県全体で前年比99.0%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,363トンの前年比99.5%（対前年同17トンの減）、全農県本部は1,619トンの対前年比98.0%（対

前年同月33トンの減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比100.9%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比102.0%となりました。

令和2年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で飲用向けが100.4%、加工向けが103.5%、学乳向けが137.4%、チーズ向けが114.3%と上回り、醗酵乳向けが98.0%、生クリーム向けが90.8%と下回って推移しました。8月もスーパー等の家庭消費用飲用向け牛乳の消費は引き続き顕著に推移しました。

学乳向けは、春先の新型コロナウイルス感染拡大で休

校となった代替授業がおこなわれたことで供給が増えることとなりました。

引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均52.9トン（前年比103.4%）で、本組合生産量の48.7%、県全体生産量の32.9%と処理量となりました。

令和2年度8月別支払乳価表

令和2年度の販売乳価は、全用途で前年度価格据え置きとなりました。

令和元年10月からの消費税増税に伴う軽減税率適用開始により、これまでプール乳価計算時に控除していた、全国連手数料・販売手数料・年度末精算資金がプール計算後の乳代精算控除項目として控除されていることに伴い、見た目上は前年対比でプール乳価、補給金、集送乳調整金単価を合せて前年より3円25銭6厘上回る単価となりました。

■東北全体プール乳代金 4,482,464千円 単価111.165円
 ■内 福島県分プール乳代金① 520,042千円 単価111.165円
 プール対象外乳代金② 45,015千円
 (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 565,057千円 単価113.409円

項目	令和2年8月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	111円302	108円059	3円243	103円420
補給金単価	0円732	0円725	0円007	0円976
集送乳調整金単価	0円223	0円217	0円006	0円288
合計	112円257	109円001	3円256	104円684

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体8月)

用途別	販売乳量(t)	日量(t)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	29,767	960.0	100.4	71.6	72.0
加工向け	2,993	97.0	103.5	7.2	7.0
学校給食向け	1,224	39.0	137.4	2.9	2.2
醗酵乳向け	6,896	222.0	98.0	16.6	17.1
生クリーム向け	501	16.0	90.8	1.2	1.3
チーズ向け	166	5.0	114.3	0.4	0.4
合計	41,547	1,339.0	100.9	100.0	100.0

備考

1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

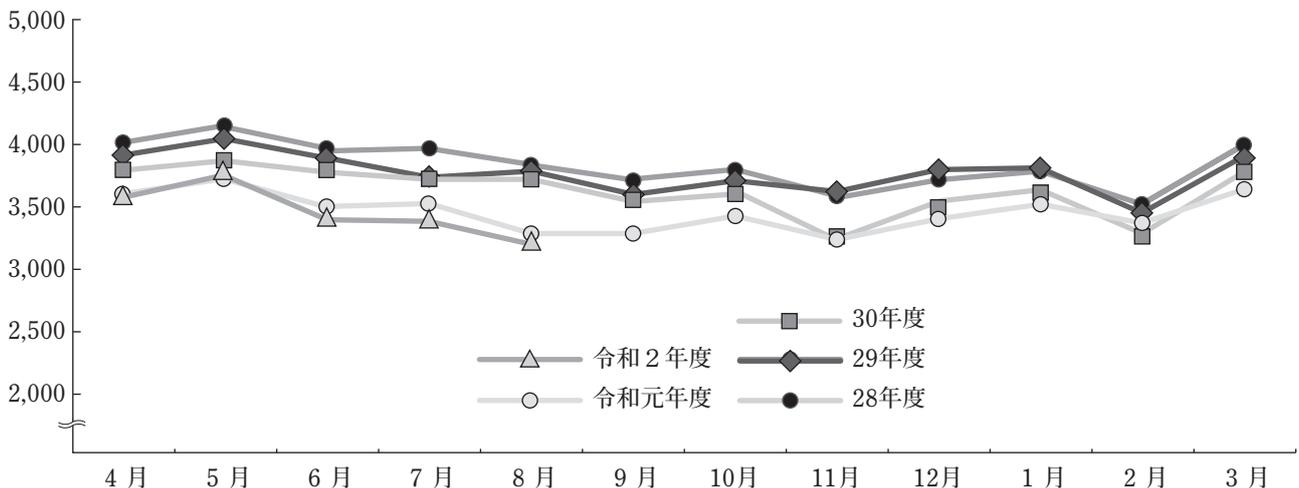
北海道：103.1%、都府県：100.4%

団体名	8月分		
	受託乳量(t)	日量(t)	前年比(%)
県酪協	3,363	108.5	99.5
全農福島県本部	1,619	52.2	98.0
合計	4,982	160.7	99.0
東北生乳販連	41,547	1,340.2	100.9
全国	578,259	18,653.5	102.0

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	4,094	4,231	4,025	4,029	3,894	3,717	3,839	3,664	3,822	3,889	3,576	4,031	46,811
29年度	3,958	4,132	3,940	3,880	3,778	3,622	3,740	3,637	3,797	3,820	3,498	3,948	45,750
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687	3,369	3,818	44,091
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363								
前年比%	99.5	100.1	99.1	98.7	99.5								

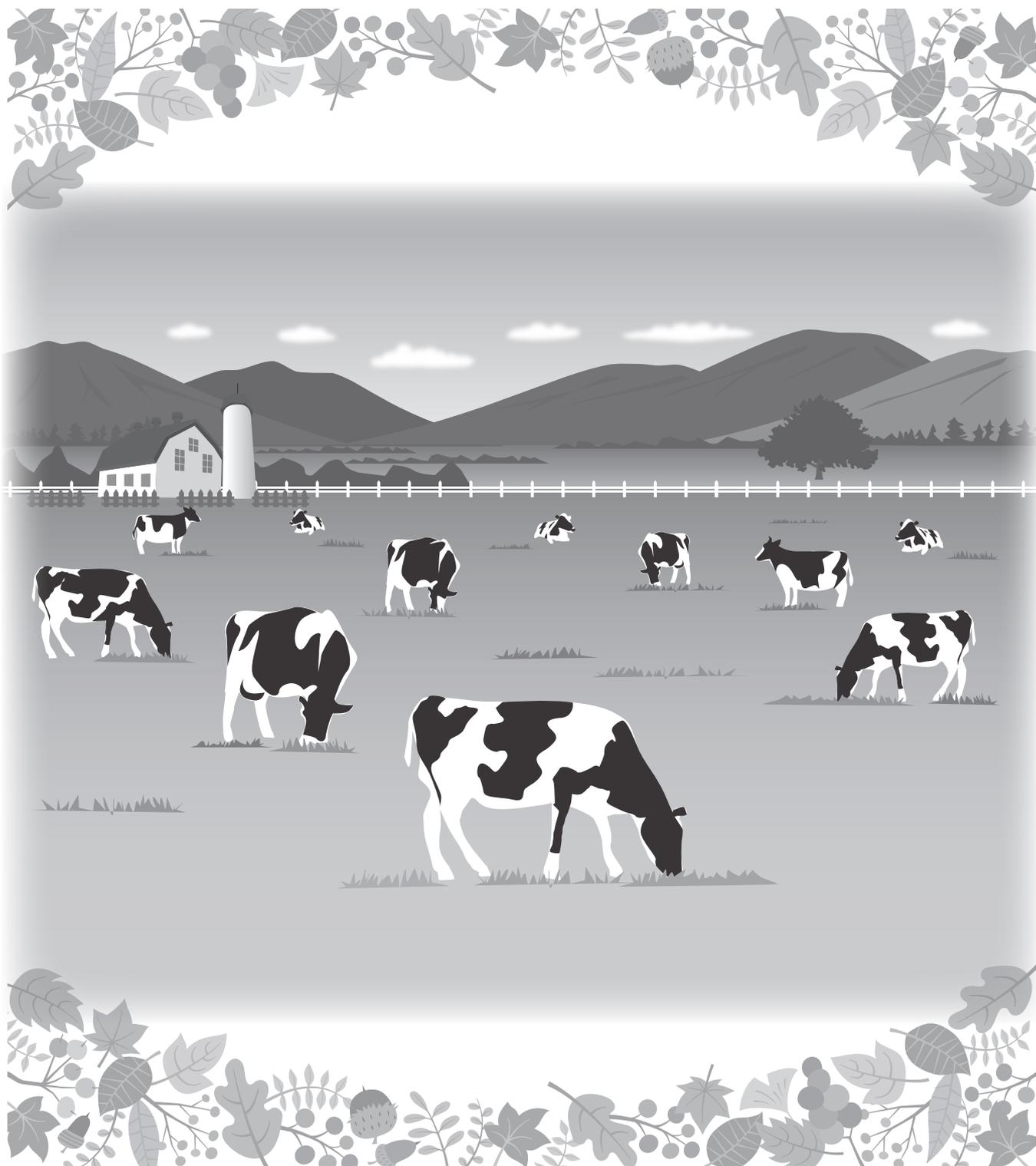
単位・トン



組合の動き 9月

9月2日	福島県乳牛改良推進協議会理事会	9月17日	酪王乳業(株)取締役会
9月2日	ヘルパー利用組合三役会	9月18日	畜産関係団体連絡協議会予算要望(県庁)
9月2日	福島県農業振興審議会	9月24日	第51回職員業績発表大会
9月3日	県酪女性部やまびこ会第3回役員会	9月25日	全国農協乳業協会理事会(WEB)
9月4日	各種団体要望聴取会(県庁)	9月25日	福島県乳牛改良推進協議会幹事会
9月9日	第八次中期経営3カ年計画幹事会	9月29日	全酪連理事会(WEB)
9月10日	乳牛せり市場	9月29日	東北生乳販連役員推薦会議(WEB)
9月11日	ヘルパー利用組合理事会	9月29日	第6回経営検討会兼再建検討委員会
9月15日	楽寿会役員会		
9月16日	浜支所環境整備		





『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(^o^)/する話題がいいですね）
 ◎文章だけでも結構です。
 ◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けています）
 メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : yuuki-saitou@fukuraku.or.jp・FAX0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>